

さいたま市立宮原小学校

原点学校だより

平成29年11月1日 第7号



学校教育目標 心身ともに健やかで主体的に生きる子どもの育成
・たがいに努める子・たがいにきたえる子・たがいに手をとる子

〒331-0812 さいたま市北区宮原町4-102-6
Tel 048-664-5153 FAX 048-664-8989




「つぼみの日」に思うこと

校長 新堀 栄

10月28日(土)の学校公開日には、多数の方にご来校いただきました。ありがとうございました。また、「どんぐりコンサート」は、いかがでしたでしょうか。

先月は、2週連続で週末に台風が関東地方を横断し、その影響もあり、23日間も雨が降りました。吹く風にも徐々に冷たさを感じられ、校庭の木々も色付き始めました。

二十四節気の「霜降」も過ぎ、7日はいよいよ「立冬」です。この日から立春の前日までが「冬」とされ、ますます日が短くなり時雨が降る季節とされています。

さて、先週は「つぼみの日」がありました。もう、ご存じのことと思いますが、「つぼみの日」とは、平成26年度から、確かな学力の向上やいわゆる「中1ギャップ」の緩和のために、児童生徒の発達段階や教育上の課題に応じた一貫性のある学習指導や生徒指導を行い、小・中学校の教職員が協働して学校間の円滑な接続を図る、「さいたま市小・中一貫教育」の取組の一つとして実施しています。具体的には、全ての市立小学校6年生が、通学区内の進学予定中学校の授業や部活動を見学したり、体験したりする活動を通して、希望をもって中学校生活を送ることができるようにするという取組です。ちなみに「つぼみの日」という名称は、その趣旨を児童生徒に説明した上で公募し、なる、くたち わたしたちの、らいの日」という頭文字からきています。

小・中一貫教育の効果としては、文部科学省が実施した「小・中一貫教育実態調査」によると、特に「中学校への進学に不安を感じる児童が減少した」、「いわゆる『中1ギャップ』が緩和された」、「下級生の手本となろうとする上級生の意識が高まった」などの成果が実証されています。

各中学校区での取組は様々ですが、宮原中学校区では、事前に希望した教科に分かれて国語、数学、英語などの授業体験を行ったり、部活動を先輩と一緒にしたりしています。その他にも、児童生徒間の交流として、中学校の生徒会役員と小学生の児童会役員による朝の合同あいさつ運動や、教員間の連携として、年間数回、理論研究を行っているほか、異校種間の授業参観、中学校教員による小学校での特別授業、教育カリキュラムや指導方法の共有等を行っています。

私は小・中一貫教育を推進するためには、一つ目に、児童生徒が多様な教職員や他の児童生徒と関わる機会を増やしていく「縦の連携」と、二つ目に、地域社会と結び付きを強めていく「横の連携」を築くことで人間関係を広げていくことが必要だと考えます。

実際、今回体験した6年生に聞いてみると、「初めて中学校内に入ったけれど、それほど小学校と変わらなかった」、「中学校の先生の授業がおもしろかった」、「部活は先輩について行けそうだ」等の声がありました。一方、宮原中学校区の特徴的な取組として、6年生が中学校に行っている間に、中学校3年生が、出身小学校に来校し、1年生から5年生までの学習補助を行う取組を行っています。こちらも、感想を聞いてみると、「楽しかった」、「毎日6時間目は、教えに来たい」という声が聞こえてきました。

「横の連携」については、宮原中学校区では地域の方々の多大なご協力がありますので、安心です。いつも地域全体で児童生徒を見守ってくださることに感謝しております。

今後も、「縦と横」の関係を密にし、地域の児童生徒を「地域の宝」として引き続き、見守っていただきたいと存じます。また、見守っていききたいと思います。

委員会活動が盛んです

宮原小学校には、11の委員会があり、5・6年生は、全員いずれかの委員会に所属しています。毎月1回、委員会活動の日があり、その日を中心に活動しています。

各委員会が日々、様々な取組をしており、10月は特に、児童が活躍している姿が多く見られましたので、いくつか紹介いたします。

運動委員会では、児童の体力向上推進のための取組として実施している「握力アップキャンペーン」において、紹介ビデオを作成したり、休み時間に誰でも握力を計測することができるように握力計を準備したりしていました。

また、図書委員会では、読書月間の取組の一環で1・2年生対象の読み聞かせや図書集会での発表を行いました。

さらに、飼育委員会では、「ふれあいタイム」を設定し、うさぎとの触れ合いに来た児童に対して、うさぎの扱い方やえさのやり方を丁寧に教えていました。

紹介できなかった8つの委員会を含め、5・6年生が責任をもって活動に取り組んでいるおかげで、宮原小学校が過ごしやすく、活気のある学校になっています。

<運動委員会・握力アップキャンペーン>

人権教育の取組

本校2階の渡り廊下には、現在、児童が取り組んだ人権標語や、感謝の気持ちを記した「サンキューツリー」を掲示しています。この度、この渡り廊下を児童の温かい人間関係づくりの基礎を培う場として、「ぼかぼか せんだん ストリート」と名付けました。児童はもちろん教職員も、ここを通る度に心が温かくなっています。保護者・地域の皆様も、来校した際には「ぼかぼか せんだん ストリート」に立ち寄っていただき、児童のメッセージをご覧になり、心をぼかぼかにしていただければと思います。

<ぼかぼか せんだん ストリート>

また、10月19日(木)には、今年度2回目の「なかよし給食」を行いました。なかよし給食では、6年生と1年生、5年生と3年生、4年生と2年生が兄弟学級を組んで、一緒に給食を食べたり、ゲームをしたりするなどの交流をします。2回目のテーマは、「なかよく ならうね」でした。上級生と下級生が、お互いの立場を理解し、協力し合いながら交流することで、互いを認め合う態度を養うことができました。

さらに、今月10日(金)に開催する研究発表会では、2年1組と4年3組において研究授業を行います。これまでの取組の成果や課題を他校の教員を招いて協議し、児童の人権意識をさらに高められるようにしてまいります。

<なかよし給食>

<「体罰・暴言等不適切な指導に関する相談票」さいたま市ホームページへの掲載について>

学校から4月下旬に「体罰・暴言等不適切な指導に関する相談票」を配付させていただいたところですが、教職員からの体罰・暴言等不適切な指導に関する相談をいつでも受け付け、対応できるように、さいたま市のホームページにも相談票を掲載いたしました。保護者の皆様には、引き続き、教職員による体罰禁止の徹底と暴言等不適切な指導の根絶に向け、ご協力をお願いいたします。

※さいたま市のホームページにおける相談票の掲載箇所

トップページ>子育て・教育>教育>お知らせ>平成29年度体罰・暴言等不適切な指導に関する相談について
<http://www.city.saitama.jp/003/002/011/p056013.html>

校外に出掛けて学習しています

10月は、2日に実施した1年生の遠足から始まり、6年生の修学旅行や4年生の校外学習など、児童が様々な目的をもって校外に出掛けて学習する機会が多くありました。児童は、朝出掛ける時の期待感をもった表情や、帰ってきた時の充実感のある表情など、その日は、普段と違ったとてもよい表情を見せてくれました。

また、2年生が「町たんけん」、3年生が「地域めぐり」と宮原小学校の学区内にある施設等を巡る機会もありました。普段、見慣れている地域を改めて見つめることで、新しい発見がいくつもあったことと思います。地域のことを深く知り、地域を大切に思う気持ちを育ててほしいと考えています。

<6年生・修学旅行>

今月の生活目標

「感謝の気持ちをもとう」